

HERB HELP YOU

1. 競走曲

早く着いた方が勝ち そう言って走り出した
当然僕は一瞬遅れた
今日は反対の道ね 笑いながら上り坂へ
不意をつかれて余計離れる

頬をかすめた冷たい感覚
雨かな空を見上げる？
No No No No…

鼓動が真っ先に走り出した
意識はそれを追いかけた
いつか追い抜いて振り返って
くだけた光で照らすのさ
一体どんな感情 それが表情になる前に

いつもとは違う道に いつもとは違う景色
そしていつもと違う横顔
何気ない話をされ 近くなのに遠ざかるよ
熱を抑えた笑顔を見てた

傷に触れない優しさに慣れて
何にも踏み出さないまま
Wow Wow Wow Wow

言葉がひとりでに走り出した
意識はそれを止めないでいた
一歩進んだら沈むような
それなのにこんなに疼くのか
一体どんな感情 それがサヨナラになる前に

やっと落ちた涙 僕の方が少し先に
悲しみでもなくて今更切なくもない
ただ初めてお互いが愛しく思えた

鼓動が真っ先に走り出した
意識はそれを追いかけた
いつか追い抜いて振り返って
くだけた光で照らすのさ
絶対こんな感情 それが表情になる様に

2. アクターズロマンス

君がずっと見たいと言ってた
映画を見た夜
まだうっとり余韻を楽しむ
君を見つめてた

僕はそっと星を眺めてる
君を抱きよせて
わざとおどけて映画のセリフを
真似して口説いた

君は少し怒って照れて笑った
色んな表情で僕を見る
いつも僕は
慌てる君につられて
綻びてしまう

たまに君が僕の真似をして
からかいに来て
僕はおおげさに君の真似をして
いつも通りだね

君と鏡になって入れ替わって
ほどよいバランスで君になる
そして僕は
無邪気な君を知る度
羨んでしまう

きっと僕らは幸せな誰かの真似をしてる
きっと未来は良い事ばかりが残るはずさ

君は少し怒って照れて笑った
色んな表情で僕を見る
君と鏡になって入れ替わって
ほどよいバランスで君になる
そんな風に
手探りで気持ちを知って
優しくなりたい
愛しあいたい

3. 風の旅人

始まりの一步すら
誇れたもんじゃない
それでも続けるのさ
逃げたいからじゃない

光が一度視界を遮った
誰も見たことない世界だ

喜びも哀しみも 終えた切なさが
旅人を絶えず歩かせる
切なさですべての過去が覆われる
新たな 風と物語を

「そんな光はない」と
鼻で笑う人と
「同じ光を見た」と
怒鳴り散らす人と

想いは声という名の振動になり
風の導くまま飛んでく

醜くて愚かでも 別に構わない
自分さえ守れないのなら
遠ざけた人の涙も拭えない
ここから声で吹き飛ばそう

光を求め迷うこの背中が
いつか見たことある光に

喜びも哀しみも 終えた切なさが
旅人を絶えず歩かせる
誰もまだ知らない明日に向かって
言葉を風が紡いでいく

新たな 風と物語を

4. 孤独の盾

臆病な自分を隠したくて
自ら創ったその盾に
実は苦しめられていた
他人を傷つけていた

同じ孤独を味わいながら
人を愛せる君に出会ったよ

これまでに組み立ててきた
自分という小さな常識を
怖いけど崩してみるよ
君のような夢を持ちたいから
もう心の闇には負けないよ
光を守りたいんだ

モザイクのかかったこの景色は
優しさだけでは拭えない
だから疑い続ける
君を信じるためにも

違う視点を教わってから
悲観していた過去も変わったよ

これまでに組み立てられた
愛のない氷の世界に
小さな手重ねてみるよ
次はいつか君を助けたいから
ただ心を形に変えてくよ
明日を守りたいんだ

これからを組み立てていく
自分という小さな常識を
怖いけど伝えていくよ
君のように今を生きたいから
もう心の闇には負けないよ
光を守りたいんだ

5. Precious

幸せは数えるよりも
測るほうが実は綺麗に映る
その事にやっと気づいて
空を見上げて嘸み締めていた

笑う声が僕を呼ぶ声が
美しすぎて景色がにじむ
今からでも間に合うのならば
知らない君の話がしたい
僕の知る以上の愛しさで

大切な人の大切さは
失うまでは気づけないらしい
こんなにも嬉しい事はない
今よりもっと好きになれるとは

悲しみを同じ数だけ
渡し合って君と比べていたら
重いほど軽くなってく
だから教えて？ 教えたいから

笑う為に僕を呼ぶ前に
綺麗に纏う壁を崩して
分け合ったりわざと増やしたり
知らない距離を大事にしたい
僕の知る以上の愛しさへ

たくさんあるのに増えてくのは
貰ってばかりで気が引けるから
「お互い様だよ」と返し合い
今日も心を追い続けている

幸せと切なさを離せずに
どうしてこれほど切なさだけが…
大切な人の大切さは
失うまでは気づけないらしい
こんなにも嬉しい事はない
今よりもっと好きになれるとは